

病院のお仕事いろいろ

安全で有益な 放射線治療を



診療支援部
診療放射線技術部門
診療放射線技師

下窪 康史 (したくぼ やすふみ)
放射線治療専門認定技師

下窪さんは、放射線治療を受ける患者さんの治療に特化した、放射線治療専門認定技師の資格を持つ放射線技師です。放射線治療は手術と同様、がんの局所療法の一つですが、患者さんの安全性と快適性に配慮して、病巣に対する確実な放射線量投与を行うことで、正常組織への侵襲性が少なく機能や形態を温存した治療ができるメリットがあります。

下窪さんは「放射線治療は、医師、看護師、放射線技師など様々な職種で構成されたチーム医療の役割が重要です。その中で診療放射線技師の役割には、治療計画用CT画像撮影、治療計画の確認と検証、放射線照射、放射線治療機器の精度確認等があり、放射線治療に携わる医療職として果たす役割は大きいと感じました。」と診療放射線技師を目指したきっかけを語ってくれました。

徳島大学病院では、定位放射線治療や強

度変調放射線治療(IMRT)を行っており、照射人数は年々増加傾向にあります。現在、下窪さんは主に転移性脳腫瘍の定位放射線治療や前立腺癌のIMRTの業務に携わっています。「治療効果判定により、腫瘍の縮小や改善傾向が認められた時に放射線治療業務の一員として重責を果たしていると感じます。」と下窪さんは言います。

「放射線治療適応疾患かどうか、また起こり

得る可能性がある副作用にはどのようなものがあるかを放射線科医師と十分に診察で話し合ってから放射線治療を受けていただきたいと考えております。」

